



秋の交通安全週間が始まります



9月21日～30日までの10日間は「秋の交通安全週間」の実施期間にあたります。交通事故防止の徹底を図るため、毎年、春と秋に行われています。

警視庁から発表された「子供の交通人身事故発生状況（23年度上半期）」によると、交通事故発生件数は緩やかに減少していますが、事故が発生する状況の傾向はあまり変化がありません。交通事故の多くは、「飛び出し」「信号無視」「安全確認不足」など本人の交通ルール違反が原因です。

交通事故の割合を見てみると、自転車乗車中の事故が62.3% 歩行中の事故が37.5%ですから自転車乗車中の事故が大変多いことがわかります。

「秋の交通安全運動」の期間は、「子どもの交通安全」と向き合うよい機会です。ぜひ、親子で注意点を話し合ってみてください。



自転車での事故を防ぐために・・

《子どもが気をつける基本ルール》

- 信号を守る
- 道路の左側を走る
- 歩道を走るときは車道の近い側をゆっくり走る
(歩行者が多い時は押して歩く)
- 二人乗りはしない
- ヘルメットをかぶる
- 自転車で横に並んで走らない
- 友だちと話しながら走らない
- 暗くなったらライトをつける
- 止まるの標識のある場所では必ず左右の確認をする

《保護者の方へ》

自転車事故を減らす基本は、身体に合った自転車に乗ることです。子どもは成長が早いので、サドルやハンドルの高さを保護者の方がこまめに調整してあげてください。

自転車は、歩行中より素早い状況判断が求められる乗り物です。本人が先の危険を予測できることが最終目標ですが、まずは「ここは必ず止まって確認しよう」「ここはカーブミラーを見ようね」など情報をインプットしてあげることも役に立ちます。

